

アジア選手権報告

9月18日(月)～21日(木)にかけてイランのテヘランでアジアクライミング選手権テヘラン大会が開催された。

リード女子は、準決勝をギリギリの8位で通過した尾上彩が決勝ラウンド、先頭の尾上がいきなり41を記録し、最後まで尾上は1位を守り、シニアクラスでの国際大会初優勝を勝ち取った。

続けて緒方良行、渡部桂太、藤井快、榎崎智亜が順当に決勝へ駒を進めていたボルダリング男子決勝は、一課題目から日本勢4名の争いとなり、全完登のアテンプト差で、藤井がアジア選手権初タイトルを手にした。

最終日となった9月21日、ボルダリング女子とリード男子の決勝が行われ、女子は野口啓代と尾上がワンツーフィニッシュ。男子では藤井がボルダリングとの二冠を達成し、緒方が3位に入った。

女子ボルダリングの野口は2位に2完登の差を付けた貫禄の優勝となり、男子リードの藤井はただ一人終了点直下まで到達し、ダントツの優勝となった。

また、全選手が「リード・ボルダリング・スピード」の3種目に出場し、個人スピードでは予選落ちとなったものの、男子スピードリレーでは、榎崎・緒方・藤井の日本男子チームが予選を7位で通過し、見事決勝へ駒を進めることができた。最終的には8位となったが、今後はスピード競技でも活躍が期待できる結果であった。

(記 安井博志)

◆女子リード結果

- 1位：尾上 彩(福井県連盟)
- 2位：野口 啓代(茨城県連盟)
- 3位：小武 芽生(東京都連盟)
- 4位：Elnaz Rekabi(イラン)
- 5位：Abdul Rohma Syarifah(インドネシア)



男子ボルダリング決勝。男女表彰台独占

- 6位：LaMu RENQING(中国)
- 7位：Hung Ying Lee(チャイニーズタイペイ)
- 8位：Hsiu-Ju Lin(チャイニーズタイペイ)

◆男子ボルダリング決勝

- 1位：藤井 快(東京都連盟)
- 2位：緒方 良行(福岡県連盟)
- 3位：渡部 桂太(三重県連盟)
- 4位：榎崎 智亜(栃木県連盟)
- 5位：YuFei Pan(中国)
- 6位：Gholamali Baratzadeh(イラン)

◆女子ボルダリング結果

- 1位：野口 啓代(茨城県連盟)
- 2位：尾上 彩(福井県連盟)
- 3位：Puntarika Tunyavanich(タイ)
- 4位：Rahil Ramezani(イラン)
- 5位：Rong JIANG(中国)
- 6位：LaMu RENQING(中国)

- 7位：小武 芽生(東京都連盟) ※準決勝敗退

◆男子リード決勝

- 1位：藤井 快(東京都連盟)
- 2位：HaiBin Qu(中国)
- 3位：緒方 良行(福岡県連盟)
- 4位：ZiDa Ma(中国)
- 5位：Khosro Hashemzadeh(イラン)
- 6位：YuFei Pan(中国)
- 7位：Ahmadreza Solgi(イラン)
- 8位：Ka-chun Yau(香港)

- 21位：渡部 桂太(三重県連盟) ※準決勝敗退
- 26位：榎崎 智亜(栃木県連盟) ※棄権



女子ボルダリング決勝。野口と尾上がワンツーフィニッシュ